「キャリア・パスポート」を活用した授業例③

1. 高等学校　特別活動
2. ３（４）学年　ホームルーム活動（３）「一人一人のキャリア形成と自己実現」

エ 主体的な進路の選択決定と将来設計

1. 題材「小学校から高等学校までを振り返り、自分自身の今と将来を考える」

▶これまでや現在の自分を振り返り、自己の興味・関心や適性を把握するとともに、将来の生活における職業人、家庭人、社会の形成者などとしての活動等について考え、人生や将来の生活を具体的に描く。

1. 事前の指導（活動）

▶小・中学校、高等学校においてこれまでに作成した「キャリア・パスポート」を見返し、改めてこれまでの自分の「足跡」を整理し直す準備をさせる。

▶社会への貢献の仕方や将来の生き方のヒントとなるような参考資料（新聞記事や書籍等）を事前に各自で収集させる。

1. 本時の学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 児童生徒の活動 | 指導の留意事項 |
| 導入 | ▶ねらい「小学校から高等学校までを振り返り、自分自身の今と将来を考える」について確認  ▶これから行う活動の流れについて指示 | ▶多様な考えや意見を受け入れ、尊重し合う雰囲気をつくるため、相手の意見を否定しないといった「グランドルール」を確認する。 |
| 展開 | ▶小・中学校で作成した「１８歳の私へ」様式を読み返し、感じたことや考えたことを個人でまとめる。  ▶小・中学校、高等学校において作成した「キャリア・パスポート」をもとに、「小学校から高等学校までを振り返る(1)」様式を活用し、グループで発表し合う。  ▶事前に各自で収集してきた社会への貢献の仕方や将来の生き方のヒントとなるような参考資料も活用しながら、自分自身の将来についてグループで話し合う。 | ▶自己実現につながる意思決定としての取組であることを意識させる。 |
| 終末 | ▶グループ内における話合い活動で感じたことや考えたことをワークシートにまとめる。 | ▶振り返りを通して、さらなる自己理解や他者理解につなげる。 |

1. 事後の指導（活動）

▶作成した「小学校から高等学校までを振り返る(1)」様式の内容をブラッシュアップし、進学・就職に向けた志願理由書等を作成する。

1. 実施時期について

卒業年次の７月ごろを想定している。